

社外取締役からのコメント



社外取締役
桜井 正光

私がヤマハ発動機の社外取締役を任されているのは、同じモノづくりの企業の間人だからではないかと思っています。私が特別顧問を務めるリコーは、創業以来、製品開発を通じてさまざまな分野の技術を培ってきました。そしてその技術資産を活かし、常に「お客様起点」を基軸に新たな技術革新と開発に挑み、新しい価値を創造し続けています。その経験値に照らしながら、分野の異なるモノづくり企業の視点からヤマハ発動機が持続的成長を実現できるよう社外取締役として意見を述べさせていただくことが私の役割だと認識しています。

経済環境が世界的に厳しい中、現在の企業に求められていることは何か？ それはグローバル競争に勝てる強さと、国際社会から信頼される優しさを併せ持つ「強くて優しい」企業だと思います。ところが、企業という集団には善し悪しは別として、長年培われた企業文化を持っています。マニュアルには無い価値判断基準として全員に、特に上層部になればなるほど深く染み付いたものです。文化ほど自己認識が薄く、文化ほど変えることの難しいものはありません。環境の変化に対応すべく文化を進化させるには、成長と発展への強い責任感をもった経営陣の時宜を得た率先垂範活動と変化に敏感な経営機

構が重要であります。想定した成果が上がっているのか、業績の向上という結果にきちんと結びついているのか、経営ブレーキを踏んではいないかなどを検証することが欠かせません。こうした点を取締役会や経営研究会で議論する際に、私を含めた社外取締役の意見を尊重する柔軟性を持ったヤマハ発動機は、コーポレート・ガバナンスが大いに効いている会社だと感じています。

モノづくりの企業として今後のグローバル競争で生き残っていくためには、お客様により大きな付加価値を提供できる企画をしていかねばなりません。多彩な製品を有するヤマハ発動機は、さまざまな分野や技術を組み合わせ、人々の行動を変える可能性を秘めた会社です。さらなるイノベーションの創出を期待しています。

私もわずかな経験ではありますが失敗と成功の繰り返しから得た思いを糧に、ヤマハ発動機が社会や環境と調和を図りながら、製品やサービスを通じて世界の人々によるこびや驚き、高揚感、豊かさや幸福をもたらす「感動創造企業」としての企業価値向上に役立ちたいと思っています。

スナップショット

トップインタビュー

特集

事業の概況

CSR情報

企業情報

財務セクション